

源流の里

飛騨一の宮



## モンデウス飛驒位山

分水嶺：「モンデウス飛驒位山」の中には、中部日本の分水嶺があり、一方は、宮川・神通川を経て日本海へ、もう一方は飛驒川・木曾川を経て太平洋へ注ぎます。

分水嶺公園：苜蓿湿原が広がり、エゾリンドウ・モウセンゴケなどの湿原植物の自生地です。

また、位山一帯は、自然景観が素晴らしいことから県立自然公園に指定されています。

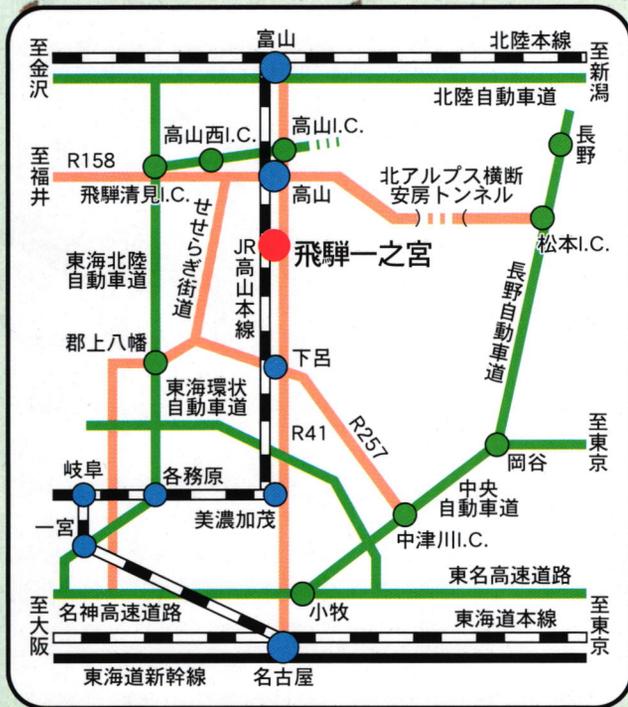


エゾリンドウ



分水嶺碑

## アクセスマップ



### 自動車でのアクセス

#### ※東名・名神高速道路利用の場合

東名・名神高速道路 → 一宮JCT → 東海北陸道 → 飛驒清見IC → 中部縦貫道 → 高山IC → (R41・15分) 飛驒一之宮

#### ※中央自動車道利用の場合

中央道中津川IC → (R257)下呂方面 → (R41) 飛驒一之宮

中央道 → 長野道松本IC → (R158)上高地方へ → 安房トンネル → 高山 → 飛驒一之宮 (東京より約4時間40分)

#### ※富山方面からは

国道41号 → 高山 → 飛驒一之宮 (富山市より約1.5時間)

北陸道小矢部砺波JCT → 東海北陸道 → 飛驒清見IC → 中部縦貫道 → 高山IC → 飛驒一之宮

### JRでのアクセス

JR高山本線飛驒一之宮駅下車。(普通列車のみ停車)

・普通列車の回数があり無いので注意してください。

写真提供 坂本 政和、山下 泰右

# 飛驒高山

### ●お問い合わせは

飛驒一之宮観光協会

〒509-3505

岐阜県高山市一之宮町7846番地1

TEL・FAX 0577-53-2149

飛驒一之宮観光協会

検索

高山市一之宮支所

〒509-3505

岐阜県高山市一之宮町3100番地

TEL 0577-53-2211

FAX 0577-53-2948

平成23年3月発行

# 四季の彩り





# 源流の里 飛騨一之宮案内図



モンデウス飛騨位山スノーパーク  
(もんでうすひだくらいやま  
すのーぱーく)

位山の北斜面に広がるスキー場で、  
初心者から上級者まで楽しめるゲ  
レンデです。位山の森をスノーモ  
ービルでクルージングする雪上ク  
ルージングも大好評です。

TEL 0577-53-2421



往還寺(おうげんじ)

15世紀末蓮如上人の弟子善  
正により創建されました。  
室町時代の作とされる木造  
阿弥陀如来座像(県指定文  
化財)をはじめとした文化  
財、菩提樹や銀杏の巨木な  
どがあります。

TEL 0577-53-2004



# むかし話

## 位山三山

その昔位山には男神が、川上岳と船山には、それぞれに男神を慕う女神が住んでいました。男神はある日2人の女神に「十五夜に月が自分の頭上にかかるのを合図に先着のほうを妻にする」と言われました。

いよいよ十五夜、位山の東にある船山では、東から上る月はなかなか位山の上にかかりません。一方西の川上岳からはすぐ位山の上に月が見えたため、急いで位山に向かい先に到着し妻の座を勝ち取りました。船山の女神は悔しがり位山との間に深い谷を刻み、それが今の無数河谷だということです。

## ねじの木

その昔、水無神社大鳥居の横に目通り直径1.5m、高さ数十mのヒノキの大樹がありました。

あるとき、民家がこの木の日陰になるとして、村人たちが伐って普請に使おうとしたところ、一夜のうちに幹がねじ曲がってしまいました。村人は、驚いて伐るのを取りやめ、神に詫びたそうです。

その後この木は、枯れてしまいましたが、株は境内に保存されています。このねじの木にちなんだねじれたお菓子「こくせん」は、神社の祭りなどで売られています。

## あじめ(アジメドジョウ)と座禅石

その昔大幢寺の開山和尚が、石の上で座禅の修行をしていたところ、水無神社の神が現れ、「仏法を伝授してほしい」と申され、和尚は願を聞き入れました。神がその思いに報いたいと申されたところ、和尚は、「川の音が大きく読経の妨げになるので何とかしていただきたい」と申し上げました。すると神は、あじめに命じて寺前の宮川の水を地下に潜らせました。

そのためか、今でも川の水はしばしば伏流し見えなくなります。また和尚が座禅していたとされる座禅石が大幢寺に残されています。



**大幢寺(だいどうじ)**  
大幢寺開基伝奥和尚により再興されたと伝えられています。すぐ脇に立つ臥龍桜も、かつては「大幢寺の大桜」と呼ばれていました。円空仏・座禅石・夜泣き松・観退(かんぬき)などの文化財も多くあります。  
TEL 0577-53-2033



**飛騨一宮水無神社**  
(ひだいちのみやみなしんじや)  
水無神社の歴史は古く、西暦867年には、神位を授けられ、以来飛騨国一宮として広く信仰を集めています。初詣をはじめ飛騨生きびな祭や例祭など、多くの参拝者が訪れ、飛騨の一宮として古くから人々の心の拠り所です。  
TEL 0577-53-2001

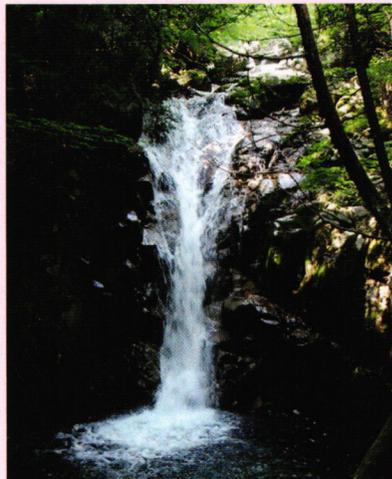
# ようこそ飛騨一之宮へ

飛騨人の心の拠り所「飛騨一宮水無神社」(ひだいちのみやみなしじんじゃ)、千百年の時を超えて咲き誇る「臥龍桜」(がりゅうざくら)、豊かな自然のなかで農林業・自然体験・グリーンツーリズムなど、ふれあいいっぱいの飛騨一之宮に、是非お越しください。

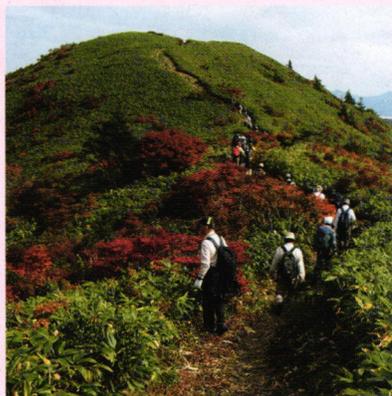
## 自然散策



**臥龍桜(がりゅうざくら)**: 樹形が龍の臥した姿に似ていることから名付けられた国指定天然記念物。樹齢1,100年余り、高さ20m、枝張り30mに及ぶ、日本を代表するエドヒガンの大樹です。見頃は、4月中旬から下旬。



**餅谷の滝(もちだにのたき)**: 餅谷林道の中程付近にある、高さ約10mの滝です。



**川上岳(かおれだけ)**: 標高1,626m。一之宮町南西端に位置し、下呂市萩原町・馬瀬・高山市境近くにある一之宮町最高峰です。



**位山(くらいやま)**: 標高1,529m。飛騨のほぼ中央に位置し、南西～北東にのびる稜線は、本州を太平洋側と日本海側に分ける分水嶺ともなっています。位山の特徴である巨石群は、登山道沿いからも数多く観察できます。



**バイカモ**: 常泉寺川の水無神社周辺から下流域にかけてみられる。花は白い花びら5枚の直径1.5cmくらいの花を咲かせる。見頃は、6月上旬から9月下旬。



**宮の大イチイ(みやのおおいちい)**: 宮川の最上流部にあるツメタ谷の中程に位置し、森の巨人たち百選にも選ばれた市指定天然記念物。推定樹齢2,000年余り、樹高25m、幹周6.9mに及ぶ、国内最大級・最古のイチイです。



**こばのみつばつつじ**: 一之宮町のほぼ中央に位置するお旅山にあり、若葉が出る直前に1個から3個の明るい紫色の花を咲かせます。見頃は、5月上旬ころ。



**巨樹・巨木**: モンデウススキー場の横から、位山登山道入口に向かう、ダナ平林道沿いには、ネズコ、イチイ、六本ヒメコマツなど、樹齢400年～1,000年余りの巨樹・巨木を見ることができます。

# 田舎体験

## 自然体験

**ツリークライミング**：専用のロープや安全保護具を利用して木に登り、木や森、自然との一体感を味わうことができます。木の上から望む景色は、今までとは違う視点で自然を体験することができます。

**源流探検・川遊び**：沢の中や山道を登り、川の始まりである岩のすき間から湧き出す湧水を探したりその水を味わったりします。また、宮川では、清らかな川に生息するイワナやアジメドジョウなどの魚、ヤマセミ、カワガラスなどの水辺の鳥などが見られます。

## 遊び・スポーツ

**雪遊び**：雪国でしか体験できない、雪だるま・雪像・かまくら作り、スキーやソリなど、雪にまみれて子供から大人まで家族で楽しむことができます。

**かんじき体験**：木と縄で作った手作りのかんじきをはいて、冬の野山へ出かけ、自然観察をします。

## 農林業体験

**野菜植付け・収穫**：ふだん食べているトマト、じゃがいも、トウモロコシなど、いろいろな野菜の種まき・植付けから収穫、そして食べるまで、季節に応じた体験ができます。

**田植え・稲刈り**：「米」という字を分解すると「八十八」。これは米作りに88の手間がかかることを表しているそうです。その中の、代表的な田植え・稲刈り等の作業を昔ながらの方法で体験できます。

## 食体験

**御幣餅(ごへいもち)、手打ちそば・ほうば寿司**：飛騨の郷土料理、御幣餅づくりを体験し味わいます。あぶらえやみそ等をつかったタレを付けてと絶品の味わいです。また、そば粉から実際に自分の手で打ったそばの味は格別。ほうば寿司づくりなども好評です。

**イワナつかみ取り・塩焼き**：冷たい川に入り、岩かげに入ってじっとしているイワナを両手で包み込むようにつかみます。捕まえたイワナはその場で塩焼きに。お子さん方に人気です。



ツリークライミング



イグルー作り



ジャガイモの収穫

## 歴史探訪



**飛騨生きびな祭(ひだいきびなまつり)**：毎年4月3日に行われる水無神社の祭りで、飛騨一円より選ばれた未婚の女性9人が生きびな様として神前奉仕いたします。雅楽の奏でる中の生きびな行列は、平安朝の昔を偲ぶとても優雅な祭りです。



**例祭(試案祭・本案祭)(れいさい(しがくさい・ほんがくさい))**：毎年5月1日・2日に行われる水無神社の祭りで、神代踊・闘鶏楽・獅子舞などの神事芸能が奉納され、500人余りの祭り行列が見所。神社で醸造されたどぶろくが一般参拝者に振舞われます。



**位山道(くらいやまみち)**：上古より天正年間まで、高山から美濃、京都へ向かう唯一の官道。水無神社前から、日影・南地区を通り菊安峠、段から無数河川を遡り、位山峠(萩原町)、山之口を通り浅水橋で益田に入りました。



**天の岩戸(あまのいわと)**：位山の登山道にある巨石群の中で、最も代表的なもの。3つの巨石が組み合わさって小さな石室を形成しており、この構造と壁面の様子が人工的に見えることから遺構や古墳であるという説もあります。

## 特産品



まゆびな



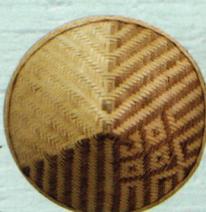
セラミック炭製品



念珠



笹ずし



宮笠



清酒 臥龍棹



**宮笠(みやがさ)**：ヒノキやイチイを編んで作る笠で、300年以上昔から作られています。今でも飛騨地方では、農作業の際などに使用されています。